

豊田工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	国語 I 乙B	
科目基礎情報							
科目番号		01222		科目区分		一般 / 選択	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		一般教育		対象学年		1	
開設期		後期		週時間数		2	
教科書/教材		『結ひの古典』（高専古典教育研究会著 あるむ刊）／『常用国語便覧』（加藤道理他編著 浜島書店刊）、古語辞典					
担当教員		江口 啓子					
到達目標							
(ア)文学作品を文脈に即して鑑賞し、そこに描かれたものの見方や登場人物の心情を理解し、説明できる。 (イ)言語作品の読解を通して、人間や社会の多様な在り方についての考えを深め、自己を客観的に捉えたり自分の意見を述べることができる。 (ウ)報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集し、それを整理、分析できる。 (エ)整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開、表現方法を工夫し、報告・論文を作成できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目(ア)		文学作品を文脈に即して鑑賞し、そこに描かれたものの見方や登場人物の心情を理解し、説明できる。		文学作品を文脈に即して鑑賞し、そこに描かれたものの見方や登場人物の心情を理解できる。		文学作品に描かれたものの見方や登場人物の心情を理解できない。	
評価項目(イ)		言語作品の読解を通して、人間や社会の多様な在り方についての考えを深め、自己を客観的に捉えたり自分の意見を述べることができる。		言語作品の読解を通して、人間や社会の多様な在り方についての考えを深め、自己を客観的に捉えることができる。		言語作品の読解を通して、人間や社会の多様な在り方についての考えを深めることができない。	
評価項目(ウ)		言語作品の読解を通して、人間や社会の多様な在り方についての考えを深めることができない。		報告・論文の目的に応じて、適切な情報収集を行うことができる。		報告・論文の目的に応じて、適切な情報収集を行うことができない。	
学科の到達目標項目との関係							
本校教育目標 ⑤ 技術者倫理							
教育方法等							
概要		古文・漢文の読解をとおりて、当時の時代・文化背景を理解し、ものの考えかたを学び、現代の生活に生かす力を身につける。					
授業の進め方・方法		前期の続きとして、古典文学としては随筆・日記・物語文学を学ぶ。随筆・日記文学からは、その時代背景と当時の人々の考え方の関連、物語文学からは、その時代背景とともに、文学と人生との関わりを考える。古典文学に親しむため、前期に引き続き、百人一首を鑑賞する。また、漢文としては、故事成語を学ぶ。					
注意点		古語辞典を準備する。					
選択必修の種別・旧カリ科目名							
選択必修 (国)							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
必履修							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス（到達目標の提示と注意点の確認）・漢文入門（訓読のきまり）・レポート1（作成法理解）		到達目標と注意点を理解できる。漢文読解に必須の基礎知識を理解できる。報告の作成について、要点を理解できる。		
		2週	漢文の読解 1（故事成語の語句解釈）		故事成語・慣用句の意味を理解できる。		
		3週	漢文の読解 2（故事成語の主題把握）		故事成語・慣用句の内容を理解できる。		
		4週	古典の助詞（国文法の考え方 意味・種類・現代語との相違）・和歌の読解 1（和歌作品の解釈・鑑賞）		古文読解に必須の基礎知識を理解できる。和歌作品の主題などを理解できる。		
		5週	随筆の読解 1（時代・文化の背景）・和歌の読解 2（和歌作品の解釈・鑑賞）		随筆作品の読解に必須の基礎知識を理解できる。和歌作品の主題などを理解できる。		
		6週	随筆の読解 2（語句解釈）・和歌の読解 3（和歌作品の解釈・鑑賞）		随筆作品の読解に必須の基礎知識を理解できる。和歌作品の主題などを理解できる。		
		7週	随筆の読解 3（主題把握 文章法理解 鑑賞）・和歌の読解 4（和歌作品の解釈・鑑賞）		随筆作品の読解に必須の基礎知識を理解できる。和歌作品の主題などを理解できる。		
		8週	古典の敬語（国文法の考え方 意味・種類・現代語との相違・敬意の方向）物語の読解 1（時代・文化の背景）・和歌の読解 5（和歌作品の解釈・鑑賞）		古文読解に必須の基礎知識を理解できる。物語作品の読解に必須の基礎知識を理解できる。和歌作品の主題などを理解できる。		
	4thQ	9週	レポート 2（情報収集・分析・整理 作成）		情報を収集・整理・分析し、報告を作成することができる。		
		10週	レポート 3（情報収集・分析・整理 作成）		情報を収集・整理・分析し、報告を作成することができる。		
		11週	物語の読解2（語句解釈）・和歌の読解6（和歌作品の解釈・鑑賞）		物語作品の読解に必須の基礎知識を理解できる。和歌作品の主題などを理解できる。		
		12週	物語の読解3（主題把握）・和歌の読解7（和歌作品の解釈・鑑賞）		物語作品の主題などを理解できる。和歌作品の主題などを理解できる。		
		13週	物語の読解4（文章法理解 鑑賞）・和歌の読解8（和歌作品の解釈・鑑賞）		物語作品の主題などを理解できる。和歌作品の主題などを理解できる。		
		14週	レポート 4（口頭発表）		情報を口頭で報告することができる。		
		15週	まとめ（学習内容・学習成果の振り返り）		学習内容・学習成果を振り返り、整理できる。		
		16週					

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文社会科学	国語	国語	文学作品（小説・随筆・詩歌・古典等）を文脈に即して鑑賞し、そこに描かれたものの見方や登場人物の心情を説明できる。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後11,後12,後13,後15
				言語作品の読解を通して、人間や社会の多様な在り方についての考えを深め、自己を客観的に捉えたり自分の意見を述べることができる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後11,後12,後13,後15
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集し、それを整理、分析できる。	3	後1,後9,後10,後14
				整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開、表現方法を工夫し、報告・論文を作成できる。	3	後1,後9,後10,後14
評価割合						
		中間試験		定期試験	課題	合計
総合評価割合		30		50	20	100
基礎的能力		30		50	20	100